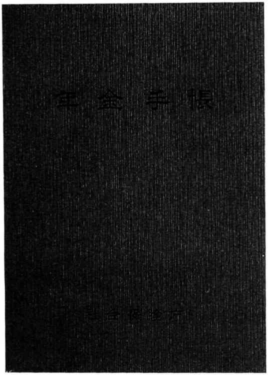
広報
しうら
No.341
平成11年
3月号

寒い季節に あったかいプレゼント

市浦村赤十字奉仕団十三分団（分団長　梶浦志保子）ではこの度、十三地区に住む一人暮らしのお年寄りにベストをプレゼントしました。

十三分団をはじめとした赤十字奉仕団ではこれまでにも福祉施設への慰問等、各種活動を行っていますが今回は「寒い時期の普段着として使ってほしい」と合計18着のベストを製作。もらった皆さんは「普段着にはもったいないくらいで、よそ行きにしたいくらい」と大喜びで、奉仕団のみなさんに感謝のことばを述べていました。

発行・青森県市浦村役場／編集・企画財政課企画広報係　〒037-0401 青森県北津軽郡市浦村大字相内字相内349-1 ☎0173-62-2111



国民年金は世代間の助け合い

老後の生活を支え、世代と世代の助け合いとなる公的年金制度。将来年金を受け取るためには国民年金に加入し、保険料を納めることが必要です。

国民年金制度とは

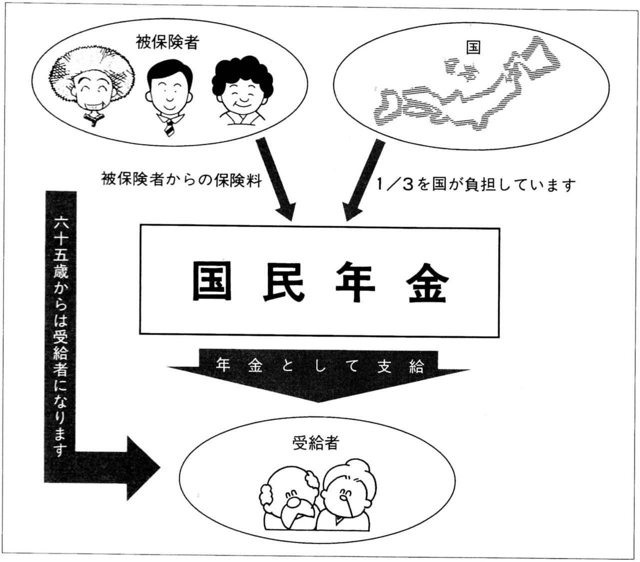
市浦村の高齢化率は二十四・四%（平成十年の調査より）となっており、全国平均の十五・七%、県平均の十七・三%（共に平成十年の調査より）を上回っているように、〝高齢化社会〟を越え、〝高齢社会〟になっているのが現実です。

「人生八十年時代」と言われている現代。心身共に健康で、長生きできることは喜ばしいことですが、老後を充実して過ごすためには経済的な安定も必要となってきます。個人による貯蓄も大事ですが、個人の力には限界があります。特に現代は核家族化が進み、お年寄りだけの家庭が増えたことから国民みんなで助け合うことによって老後に備えるしくみが国民年金制度です。

また、一生の間には病気やけが、一家の生活を支えている人の死亡等といった不慮の事故が起こる可能性もありますが、公的年金制度はこのような、障害により働けなくなったときの保障、生計維持者の死亡による生活の保障を分担する役割もあります。

◈国民年金にはこんな特色があります◈

- 年金額は物価の変動に合わせて変化するため、年金額が目減りすることはありません。
- 基礎年金の給付に必要な費用総額の１／３を国が負担しています。
- 年内に納めた国民年金の保険料は、全額社会保険料控除の対象となります。
- 国民年金の加入者が、住宅を新築・購入・増改築するときにも住宅資金を借りることができます。
- 国民年金の加入者は、子どもが高校、大学の入学、在学中に教育資金を借りることができます。
- 年金を受けている人は、その年金を担保にお金を借りることができます。
- 保険料の積立金は、病院・体育館・福祉センターなどの建設費として市町村に融資されています。
- 自分の老後や万一のときに備えるだけでなく、現在のお年寄りを支える国民全体による世代と世代の助け合い制度です。
- 老後の保障だけではなく、障害者となったときの"障害基礎年金"、亡くなられたときの"遺族基礎年金"等の制度もあり、万が一のときも安心です。



国民年金の加入者は三種類

国民年金の加入は国民の義務となっており、二十歳から六十歳までの人は職業によって三種類の被保険者に区分されます。

第一号被保険者

農業、林業、水産業、自営業、自由業、アルバイトの家族及び学生の方が対象となります。

保険料は年齢や収入にかかわらず定額となっており、役場から送付される納付書によって納付します。

●保険料
一万三千三百円（平成十年度）

第二号被保険者

サラリーマン、ＯＬ、公務員等の方が対象となっており、職場の年金制度である厚生年金や共済組合に加入することで、届出をしなくても国民年金に加入したことになります。保険料は厚生年金保険料や共済組合掛金として給料から差し引かれているため、自分で納める必要はありません。

なお、退職した場合区分が変わりますので、役場まで届け出をしてください。

第三号被保険者

第二号被保険者に扶養されている配偶者が対象となっており、役場に第三号被保険者の資格を得るための手続きが必要です。

具体的には生活費の二分の一以上を配偶者の収入によりまかなっているかどうか、年収が百三十万未満であるかどうかなどがめやすとなります。

なお、手続きを忘れていると保険料未納の扱いとなりますのでご注意ください。

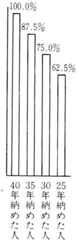
国民年金にこんな誤解をしていませんか？

✕ 誤解

25年間保険料を納めれば年金の受給資格を得られるので、35歳から保険料を納める予定。

◯ 正解

年金の受給資格を得るためには25年以上保険料を納める必要がありますが、これは最低限の基準であり、年金を満額受け取るためには20歳から60歳までの40年間保険料を納めることが必要です。　(注1)



(注1) 保険料を25年納めた人から40年納めた人までのもらえる給付率の違いの例

✕ 誤解

国民年金制度はいずれ破綻するから、保険料を納めても意味がない。

◯ 正解

国民年金の加入者が年金をもらう権利は法律（国民年金法）により保障されていますので、破綻することはありません。

✕ 誤解

国民年金に入らなくても個人年金に加入したり、将来に備え貯蓄をすれば十分である。

◯ 正解

民間企業が運営する個人年金は性質や役割が公的年金とは違なっており、経済変動に対するリスクも大きくなっています。公的年金は老後の基礎レベルを確保するためのもので、国民年金への加入は義務づけられています。また、場合によっては税金と同様、差押え等の強制執行が行われる場合もあります。

✕ 誤解

納めた保険料より将来受け取る年金額のほうが確実に少なくなるので、バカバカしい。

◯ 正解

年金制度は年金受給世代と現役世代が社会全体で支え合うしくみです。現役世代が納める保険料は、今の年金受給世代を支えると同時に、現役世代が将来年金を受け取るための権利を獲得するためでもあります。

また、貨幣価値の変化の予想は難しいですが、年金なら将来大きな経済変動があったとしてもそれに対応することができます。

国民年金の特色

村内には国民年金を受給している方が、平成十年度で八百七十七人、その**受給総額は四億五千二百四万円**となっています。また国民年金の加入者は八百六十三人で、**支払い保険料の総額は七千五百万円**となっています。

このように、単純に受給総額から支払い保険料の**総額を引いても三億七千七百四万円の受給額増**となり、国民年金は加入者の保険料の他にも国からの負担金によってまかなわれているのが個人年金との大きな違いです。

また、国民年金は物価の上昇に応じて年金額が引き上げられ、将来受け取る年金が保障されるしくみになっています。

国民年金への加入忘れや、保険料の納め忘れはありませんか？将来のためにも今からしっかりと保険料を納めるようにしましょう。

なお、国民年金について不明な点はお気軽に役場までご相談ください。

保険料の免除について

収入の少ない人、もしくは何らかの理由により失業・休業をしている場合は、保険料が免除される場合があります。

また、学生も親の収入により保険料が免除される場合があります。

免除を受けるためには手続きが必要となりますので、希望される場合は、早めに届け出をしましょう。

お問合せ先は……
市浦村役場住民福祉課　年金係まで
TEL六二ー二一一一

▲地域振興券の交付を受けた方々

個人消費の拡大と地域振興を目的とした商品券「地域振興券」の交付が二月二十六日、村内一斉に行われました。

交付の対象となっているのは、「十五歳以下の子どもを持つ世帯主」、「老齢福祉年金等の受給者等」「六十五歳以上の村民税（所得割のみ）非課税の寝たきりの方」「六十五歳以上の個人の村民税（所得割・均等割両方とも）非課税の方」が対象となっており、一人当り二万円。

一千八百五十万円相当（交付者数は九百二十五人）の地域振興券が市浦村内六百五十五世帯に配られました。

地域振興券のデザインは各自治体オリジナルのもので、市浦村のデザインは十三湖。地域色を強く押し出したものとなっています。なお、有効期限は平成十一年八月十五日までとなっており、期間中は所定のポスターが掲示されている村内六十三店舗で使用できます。

地域振興券はこのポスターのお店で

地域振興券の有効期限は平成11年8月25日です

消防・ネットワーク

火事と救急・救助は一一九番

平成十年中における救急事故概況について

平成十年中における救急車の総出場件数は一一〇件ありました。

事故種別出場件数及び搬送人員

水難	二件	二人
交通事故	一一件	一一人
労働災害	二件	二人
一般負傷	一七件	一四人
自損行為	一件	一人
急病	六五件	六二人
その他	一二件	一一人

事故種別傷病程度別搬送人員

水難	死亡	一人
	中等症	一人
交通事故	死亡	三人
	中等症	二人
	軽症	六人
労働災害	中等症	二人
一般負傷	重症	四人
	中等症	六人
	軽症	四人
自損行為	中等症	一人
急病	重症	一一人
	中等症	二九人
	軽症	二二人
その他	重症	一人
	中等症	七人
	軽症	三人

年齢別事故種別搬送人員

乳幼児	交通事故	二人
	一般負傷	二人
	急病	三人
少年	水難	一人
	交通事故	二人
成人	水難	一人
	交通事故	四人
	労働災害	二人
	一般負傷	六人
	自損行為	一人
	急病	二一人
	その他	六人
老人	交通事故	三人
	一般負傷	六人
	急病	三八人
	その他	五人

救急車が来るまでに

私たちは、いつどこで突然のケガや病気に襲われるか予測できません。心臓、呼吸が停止した場合人工呼吸や心臓マッサージを早く行えば助かる割合が高くなります。救急車が通報を受けて現場に到着するには平均で六分位かかります。この間なにもしないでいると九十％の人が死に至ります。一刻も早く適切な応急手当を行えるよう、救急法を学んでみませんか。

―少年少女友情の船―

体験航海記

この事業は、少年少女が親元を離れて、ひとつの船の中で十日間を一緒に共同生活することにより、友情と自立心の健全育成を目指し、同時に海外の同世代の少年少女との交流を深めながら、将来の国際社会を担う人材の育成を目的として実施されたものです。

体験航海は、一月五日から一月十四日までの十日間に渡って実施されました。市浦村からは、小学生五年生・六年生の八名が参加しましたので、その体験航海記をご紹介します。

市浦村からの参加者

小川　紘　司くん（相内小学校六年生）
古　都　大　和くん（相内小学校六年生）
秋田谷　絵梨花さん（相内小学校六年生）
三　和　那津希さん（相内小学校六年生）
近　藤　祥　平くん（十三小学校五年生）
若　山　知　裕くん（十三小学校五年生）
秋田谷　志　乃さん（十三小学校六年生）
中　島　千恵美さん（十三小学校六年生）

「友情の船」での十日間

小川　紘司

一月五日、朝九時に仙台の港にある「オリエントビーナス号」をめざしてバスで市浦の役場前から出発しました。仙台までは約七時間もかかり、バスの中ではとてもたいくつでした。でも、友達は早くも二人できました。

仙台の港に着いて「オリエントビーナス号」を見た時は、あまりのうれしさと感激で「ヤッター」と大声でさけびました。船の中に入ったらさっそく自分の部屋に案内されました。ぼくの部屋は三人で一つの部屋でした。もうそこには、同室の人が一人来ていました。ぼくが入った後、もう一人の人も来ました。

それから少したったら出港になり、船はグァムに向けて出発しました。着くまでにはいろいろな楽しいイベントが用意されていました。朝にはいつも「朝のつどい」をやり、手旗、ロープの結び方、ブリッジ見学、ウォークラリー、英会話、洋上クラブ活動などです。

ぼくの班はI組三班です。そこでいろいろなイベントの指揮をとってくれたのが、北島かおる君という中学校一年の立派な人でした。

五日目にはグァムに着きました。その後、島内見学をしました。グァムはとても暑く、やしの木がいたる所にありました。島内見学が終わった後、学校訪問に行きました。ぼくは中学校訪問になっていて、そこでさまざまなゲームをやりました。昼食は細長いごはんや、カリコリした歯ごたえのあるスパゲッティなど、めずらしい食べ物がでました。別れる時はつらかったけど、サインや写真をとって笑顔で学校をあとにしました。そして、待ちに待った一回目のショッピングをしました。

グァムのデパートでは、クリスタルや変わった香水などがあり、日本ではこういう物は売られていないと思い、ここぞとばかりに一回目からお金を約半分くらい使い果たしました。その後、買った物を船へ持って帰るのが大変でした。

船旅も半分を過ぎた一月十日（六日目）には、ココス島で海水浴を楽しみました。テレビでしか見られなかった青緑のすきとおった、とてもきれいな海を実際に見ることができました。それに、大きなナマコがたくさんいて、ナマコを友達と投げあって遊びました。でも、とても海水がしょっぱく、日本の海とはまったくちがっていました。海水浴が終わった後、とてもつかれてしまって、その場で眠りたい気分でした。その後も暑さはいっこうに弱まらず、何度もむぎ茶や水を飲みました。

▲参加者が乗船した「おりえんとびいなす号」

バスで船へ帰った後、交流ディナーと国際交流会をやりました。国際交流会では、グァムの小・中学生の方々に「ねぶた」を見せ、彼らはいろいろなおどりをぼく達に教えてくれました。そしておどりが終わり、感想発表も終わった後、悲しい別れになりました。「せっかく友達になったのに。」と、とてもつらい気分でした。部屋に帰ったらこらえきれなくて泣いてしまいました。それといっしょに船も出港しました。

一月十一日（七日目）は島内見学、ショッピング（二回目）をしました。島内見学では、たくさんの人が自殺して亡くなったという「がけ」などに行きました。ショッピングでは、全部お金を使うつもりで買い物をしました。

帰るまでの三日間は洋上オリンピック、夜店祭、さよならディナーパーティ、閉講式というようなことをやりました。十日間もいっしょにいた友達と別れるのはつらかったけれど、またいっしょに会えると思ったらすぐ元気がでました。船での十日間、船酔いもたくさんしたけれど、たくさん出会いもあって、とても楽しかったです。

少年少女友情の船

古都　大和

僕は、少年少女友情の船に行ってきて、まず楽しかったことは、班別ウォークラリーです。途中でリタイアする人が大勢いて、半分以上の人達が、船酔いに負けてしまいました。

続いて楽しかったのは、グアム上陸です。入国手続きというめんどうなことをしたけれど、島内見学や学校訪問やショッピング、それに海水浴も楽しかったです。それと、グァムは予想以上に暑くて、僕は海水浴が楽しみになりました。海水浴の日になると、友達といっしょにピンク色のナマコを探したり泳いだりして遊び、最後には友達にピンク色のナマコを見せてもらい、すごくうれしかったです。

それから、グァムの思い出に残っているのは学校訪問です。英語は話せなかったけど、身振り手振りで会話をすると、何とかわかってくれたし、相手が話すのも何とかわかって、うれしかったです。

そして、グァムでの最後、楽しくて悲しかった国際交流会もありました。「ねぶた」のはねとをしたり、マカレナダンスをおそわったりしたし、グァムで出来た友達のアレイ君やいろんな人達とバイキング式の食事をし、名刺を交換したり、プレゼントをわたしたりして楽しかったけど、最後の別れがすごく悲しくてつらかったです。

その後、洋上オリンピックや夜店祭を楽しんで、次の日のフェスティバルでは、僕達は「やまちゃん・じゅんちゃんの仮装大賞」というものをやり、大賞に手はとどかなかったけど、みんなが一つになって出来たのでよかったです。

さよならディナーパーティでは、組の人たちとバイキング式の食事をしました。最後は、マカレナダンスを汗をかくほどやってから、洋上誕生会をみんなで祝ってくれてうれしかったです。

今度また機会があり、船酔いがなかったら行きたいです。船の旅の後も、船で出来た友達と電話で話したり、会う予定もあるので良かったです。

十日間の思い出

秋田谷絵梨花

一月五日、午後六時三十分、私は、期待を胸に仙台港を出港しました。私は、H組の三班、部屋で荷物を整理しているうちに、班の人と気軽に話ができるようになりました。

一月六日、二日目は手旗信号やロープの結び方を覚え、これから困った時には、この結び方をしようと思いました。

一月七日、三日目は班別ウォークラリーをやりました。暗号やビンゴの数字はあまり見つからなかったけれど、暗号が解けたのでボーナス点百点をもらいました。でも、三位までに入れなかったので残念でした。そして、この日の夕方から船酔いをしてしまいました。

一月八日、四日目は洋上クラブ活動をやりました。私は、ソフトバレーのクラブを選びました。まず、組分けをして練習し、それから試合を始めました。九対八でこっちが勝っていたけど、時間がないのでジャンケンで決め負けてしまいました。でも、楽しかったので負けてもくやしくはありませんでした。

一月九日、五日目はとうとうグァム上陸です。まず、島内見学してから、グァムの中学校に行きました。いろいろなゲームをしたり、プレゼント交換をしたり、グァムの友達にTシャツにサインを書いてもらったりしました。学校訪問のあとショッピングをして、家族にお土産を買いました。

一月十日、六日目、グァム上陸二日目はココス島での海水浴です。準備運動をしてさっそく海に入ると、ナマコが出てきました。すごくやわらかでびっくりしました。夕方からは、グァムの小・中学校の人達が船に来て、いっしょにごはんを食べ、それから船からおりて交流会をしました。私達は、一輪車、竹馬、ねぶたをひろうしました。グァムの人達といっしょにマカレナダンスをしたり、とても楽しかったです。でも、別れるのはとてもつらくてたくさん泣いてしまいました。

一月十一日、七日目はサイパン上陸です。この日は、ショッピングの時間が約二時間あり、いろんな物をたくさん買いました。でも、自分の物を買いすぎたので、少しは家族にあげようと思いました。島内見学では太平洋戦争のあとが印象に残りました。

一月十二日、八日目は洋上オリンピックをやりました。前半はカモメのすいへいさん、ブックリレーなど五種類やり、その時点で七位でしたが、後半の横づなフラッグで準優勝をとり、最後の応援合戦でかなりいい点数をもらい、三位までのぼりました。三位と聞いたときはみんな喜んでいました。

一月十三日、九日目はフェスティバルをやりました。フェスティバルPART1では、各組のスタンツ（出し物）をしましたが、私はその日も船よいをして、他の組のスタンツがあまり見られませんでした。でも、私たちの組のときは船酔いのことを忘れてがんばりました。そしたら、スタンツ大賞という最高の賞がとれました。

フェスティバルPART2では、グァムでおしえてもらったマカレナダンスと、一月生まれの誕生日の人のお祝いをしました。マカレナダンス

は三回おどり、とても楽しかったです。

一月十四日、十日目は波が高くて船が思うように進めず、約五～六時間おくれて、午後九時に仙台港に着きました。でも、友達と長くいられるのでかえってうれしかったです。

私にとってこの十日間は、友達をたくさんつくることができ、とてもいい経験をしたし、一生の思い出になりました。

友情の船に行って

三和那津希

私は、一月五日から一月十四日まで、「ATV少年少女友情の船」に行ってきました。私は、友情の船行きのバスの中で、（船の中で、友達がたくさんできればいいなぁ。）と思いました。

私は初め、説明会の時まで、（友達、全然できないだろうなぁ。）と思っていました。でも、説明会の会場で、「G組3班」の所に行って席に座りました。その時、イスの奥にぼうしが入って、取ろうかと思っていたら、「小湊佳央里」さんと言う人がぼうしを取ってくれました。だから、私が佳央里さんに、「ありがとう。」と言ったら、「どういたしまして。」と言う声が返ってきて、私はうれしくて思わず、「私の名前は、三和那津希です。どうぞよろしく。」と言いました。すると佳央里さんも、「私は、小湊佳央里です。こちらこそよろしくね。」と言ったので、私は友達になりました。

はじめは、友達なんかできないと思っていたけれど、説明会の時から友達ができたので、とっても楽しかったです。そして当日は、友達の絵梨花さんといっしょにバスに乗りました。私は、前の日の夜から心臓がバクバクで、当日は、もっと心臓がバクバクしてすごかったです。

バスで約八時間かかってやっと船につきました。そして、さっそく自分の部屋に荷物をおろして、同じ部屋の人を待っていました。しばらくして、私と同じ部屋の人が入ってきて、友達の方から私に、「こんにちは。」と言ってきたので、私が、「こんにちは。」と言い返したら、なにも話さなくなったから、私が、「根本さん…ですよね。」と聞いたら、「うん。根本真弓です。」と言ったので、「私は、三和那津希です。」と言って、根本さんとも友達になりました。ほかに同じ部屋の「上平琴未」さんとも友達になりました。

夜に琴未さんと話をしていたら、根本さんが、「なっちゃん、琴未ちゃん、二二二号室の友達の所に行こう。」と言ったので私が、「うん行く。」と言って、二二二号室の部屋に行きました。二二二号室の人の名前は、「百澤香織さん、木村弘美さん、田中麻里奈さん、永澤志帆さん」です。みんなと仲良くなって、食事も同じテーブルで食べました。こんなに友達と親しくできたのは初めてでした。

船の中の行事は、手旗信号やら何やらありましたが、その中で一番忘れられないのが、フェスティバルPART2のディスコ大会です。そして、グァムの人との交流会も忘れられません。

私達は、「アラン」と言うグァムの人と友達になりました。ほかにも小さい子達とも友達になりました。その小さい子達に、「マカレナ」と言うダンスも教えてもらいました。どこの人達とも友達になれて、とってもうれしかったです。

楽しい思い出やうれしい思い出がたくさん作れて、とても良い旅でした。

「友情の船」に参加して

近藤　祥平

自分で参加することを決めた今回の「友情の船」。（友達ができるかなあ）（一人でいろいろなことができるかなあ）という、不安でいっぱいでした。

一日目は、やっぱりねむれませんでした。船に酔う人がたくさんいたけれど、ぼくは、酔ってもはかないので、安心しました。ごはんもおいしく食べることができました。

班の人達ともすぐ話をすることができたので、（よし。がんばるぞ！）という気持ちで、ウォークラリーに参加しました。みんなといっしょに暗号をといて、とても楽しかったです。

五日目には、ついに目的地の一つ、グァムに到着しました。その日は、特別朝起きるのが早かったので、ねむかったです。グァムの小学校にいった時、英語で言葉が全くわかりませんでした。でも、グァムの人達がジェスチャーをしてくれたので、なんとなくわかりました。そして、ぼくが楽しみにしていた事の一つ、ショッピングをしました。（店員の人達が英語を話すから、買いにくいだろうあ）。

でも、店員の人達がわざわざ日本語で話してくれたので、すごく買いやすかったです。お菓子やTシャツ、キーホルダーなどがドルだけど、日本より安かったので、所持金の半分ほど使ってしまいました。

六日目で、ぼくが一番楽しみにしていた、ココス島での海水浴がありました。大きなナマコがたくさん取れたし、熱帯魚も見れてすごくうれしかったです。それから、海はすきとおっていて、すごくきれいでした。

七日目には、もう一つの目的地、サイパンに到着しました。サイパンは、グァムと比べてあまり暑くありませんでした。島内見学では、戦争のあとなどを見学しました。サイパンでも、ぼくが楽しみにしていた事の一つのショッピングがありました。ぼくは、（全部使ってしまおう）と思って、お菓子やキーホルダー、おみやげなどたくさん買いました。中には、日本でも売られている物もけっこうありました。サイパンには午前中しかいなかったので、もっといたかったです。

八、九日目は、組対抗の行事が二つありました。一つは洋上オリンピック、もう一つはフェスティバルです。どちらも組のみんなでがんばってやりましたが、一位は取れませんでした。でも、その行事でまた友達が増えたので、うれしかったです。

ぼくは、この友情の船でおぼえたことを、これからの生活に役立てたいと思います。

心に残った十日間

若山　知裕

ぼくは、十日間「少年少女友情の船」に乗って、とって

も楽しかったです。船の中でいろんなことをやって、いっぱい友達ができました。すごく楽しかったです。その中でも、一番心に残ったイベントが、船の大イベントのビーナスフェスティバルです。

　PART1のフェスティバルでは、いままで船の中で、グァム、サイパンでの出来事とかを表した、げきみたいなものがありました。中には、おどりや自分たちで考えたげきもありました。学校でやった学習発表会みたいな感じで、すごくおもしろかったです。

　ぼくたちは、フェスティバルで「思い出コント」というものをやりました。今まで経験してきたことを、みんなにげきみたいな感じで見せてやりました。ちょっときんちょうしました。ようやく全部の出し物が終わりました。

　夕食をとっていよいよパーティです。全員でおどりました。たくさんおどりました。ぼくは、このイベントが一番よかったです。最後のお別れで泣いている人がいっぱいいました。みんなで最後に力いっぱいおどって、すごく楽しかったです。

　十日間いろいろなことをした仲間たちとお別れの時、ぼくは悲しかったです。

　ぼくは、十日間、みんなといっしょにすごして、とても楽しかったです。また行きたいなあと思ったこともいっぱいあります。本当に楽しい十日間でした。

「友情の船に乗って」

秋田谷志乃

私は、この「少年少女友情の船」に参加し、沢山の事を学び、体験し、そして沢山の出会いをしました。

　一月五日出発の日。雪は降っておらず冷たい風が吹いていました。八時三十五分頃家族の温かい見送りに別れを告げ、いよいよ出発。仙台までは前日の寝不足もあったせいか、ずっと寝ていました。私は元々乗り物に弱く、睡眠を十分取っていないとすぐ酔ってしまいます。だから、バスに乗っている時が、睡眠を取るのに一番適しているのでした。

　寝たり起きたり、それを、何度もくり返し、最後に起きたのが、バスの中でのパスポート配りの時でした。自分のパスポートが自分の手にきた時は、もう仙台港間近でした。二～三分たつと、ようやく「オリエントビーナス」が待っている仙台港に到着しました。

　そびえる「オリエントビーナス」を見つめ、自然と顔が微笑んでしまいました。バスから降りて組ごとに並ぶと、さっそく船に乗り、出国審査を受けました。やった事のない出国審査は、とてもきんちょうしました。

（うわ…なんかきんちょうするなぁ…無事に終えられるといいんだけれど…）という心配をよそに、審査はあっさり終わりました。

（なぁんだ、意外とすぐに終わるんじゃん！）と、私はほっとしました。

　次は、自分の部屋に行き、荷物の整理をします。迷いながらも二三三号室に向かいました。ようやく部屋に着いてドアをあけると、もうすでに一人来ていました。

「あ、どうも…」というぎこちない言葉が、船に乗ってからの第一声でした。そして、間もなく他の二人も来ました。最初は四人共えんりょがちで、話もあまりしていませんでした。でも、すぐなじんで友達になりました。その日は、となりの部屋の人などたっくさんの人と友達になり、初日はとても楽しかったです。

　二日目からは、船酔いの連続でした。楽しいはずのプログラムも気持ち悪くて、ずっとホールの窓辺にもたれてすわっていました。でもスタンツの用意の時はちがいました。

　スタンツとは、フェスティバルPRAT1の時に出す、出し物のことです。男子と女子がいっしょになって、とても楽しく練習ができました。C組の男子はおもしろい人が沢山いて、みんな友達になりました。

　そんな楽しい日々が続き、しだいに帰りたくないなあ、と思うようになりました。そんな気持ちが積み重なり、「さよならディナーパーティ」では、ついに泣いてしまいました。

　私は、この船に参加し、本当の友情を手に入れたような気がします。本当にこの船に乗り、心からよかったなと思います。

「少年少女友情の船」

中島千恵美

私は、この友情の船で、たくさんの友達と、思い出をつくることが出来ました。そして、私が一番心に残ったのは、学校訪問と国際交流会です。

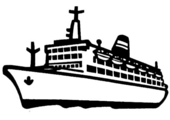
　学校訪問では、オルドット・チャランパゴ小学校に行きました。そこでは、グァムの子どもが歌やパフォーマンスを見せてくれ、とっても楽しかったです。私は、学校訪問で十歳の女の子と仲良くなりました。日本語は話せないみたいだったけれど、とても可愛い女の子でした。でも、アドレスカードがもらえなかったのが残念でした。

　次の日の交流会では、私と同じ年のジェイミーちゃんと仲良くなれましたし、カードももらえて良かったです。ただ、前の日に会えた女の子に会えませんでした。私は、一輪車クラブだったので、一輪車を交流会で発表しました。夜おそくまで練習したかいがあって、成功させることが出来ました。

　その後、マカレナダンスを踊ったりしてすごしました。でも、私は乗船の合図の音楽がかかった時、目が涙でいっぱいになりました。乗船する時、グァムの人達みんなが乗船口まで列をつくってくれました。ジェイミーの目にも涙があふれていました。とても悲しかったけど、良い思い出になりました。

　次の日は、サイパンでショッピングや島内見学をして、日本に向けて帰りました。

　私は、この友情の船に参加出来たことを、とてもうれしく思っています。今度は、家族でグァム、サイパンへ行ってみたいです。そして、十日間、とてもたくさんの思い出をつくれたことに、とても満足です。参加して良かったです。



NEWSフラッシュ

頑張れ農業青年
秋田谷和智さんが農業会議会長賞を受賞

この度秋田谷和智さん（相内地区）が「平成十年度青森県青年農業者会議」のプロジェクト発表において青森県農業会議会長賞を受賞されました。

発表されたテーマは「大区画水田における無人ヘリ防除の実践」。平成八年からラジコンヘリを使った農薬散布や直播きによる農作業の省力化・効率化に取り組んでおり、その先進的な取り組みと地域への貢献度が高く評価され、今回の受賞となりました。なお、今年の十一月には岩手県で東北農業青年者会議が開催されることになっており、秋田谷さんは青森県代表として出場することになっています。

▶東北大会へ向け張り切っている秋田谷さん

また、秋田谷さんは平成十年度より「金木地区4Hクラブ連絡協議会」の会長も努めており、今後も地域における農業青年のリーダーとしての活躍が期待されています。

4Hクラブ連絡協議会

農業に従事している若者によるクラブで、優れた知識を表す「Head」、心を表す「Heart」、健康を表す「Health」、技術を表す「Hand」の四つを備えた農業をめざしていくことを目的に結成されたことから名付けられています。

ユニークなゲームに歓声
レクリエーション・ザ・ギネス

このほど、海洋センター体育館において「第六回しうらレクリエーション・ザ・ギネス」が開催されました。

これは、軽スポーツを楽しみながらユニークな記録に挑戦し、スポーツに親しむ習慣を身につけることを目的に開催されているもので、各子ども会とその育成者百名が記録に挑戦しました。

競技種目は、子どもたちが日頃やり慣れていない「雑巾がけリレー」、台車に横ばいになってスラロームで進む「人間4WDリレー」、チームワークが決め手の「五人六脚」など数々のユニークな種目続々登場。慣れない競技に悪戦苦闘しながらもゲームを楽しみ、冬季間の運動不足解消に参加者からは「ダイエットになったかも？」との感想もありました。

▲チームワークが勝利のカギ

2/13 第三回十三湖白鳥まつり スナップ集

商工会青年部のみなさんによってすばらしい雪像が制作されました。

「渡り鳥クイズ」での一場面。回答の発表に参加者は一喜一憂。

「白鳥の鳴き声コンテスト」は日頃の観察が勝負の決め手？

雪でできた「トーサムプラザ」の前で記念撮影。雪像の完成度はなかなかのものです。

平成十年度市浦村スポーツ賞
更なる飛躍に期待!!

平成十年度受賞者（順不同）

岡本聖子さん（磯松地区）

第九回青森県女子ソフトボール選手権大会に四番、左翼手として出場し、優勝に大きく貢献されました。

工藤恵理さん（十三地区）

バレーボール青森県中学校選抜チームのレギュラーとして、青森県六人制バレーボール選抜総合選手権大会に出場し、優勝に大きく貢献されました。

梶浦武也さん（十三地区）

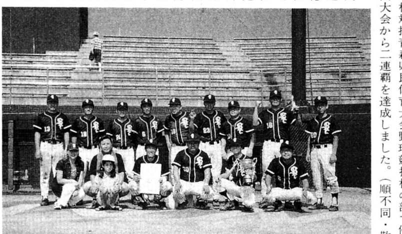
第五十三回市町村対抗青森県民体育大会陸上競技村の部男子百メートルで優勝。第四十七回大会より同種目で七年連続優勝という快挙を成し遂げました。

平成十年度市浦村スポーツ賞授与式が二月二十一日、市浦村コミュニティセンターにおいて行われ、スポーツ各方面で活躍された個人三名及び一団体が受賞されました。

市浦村体育協会野球部

第五十三回市町村対抗青森県民体育大会野球競技村の部で優勝。昨年の第五十二回大会から二連覇を達成しました。（順不同・敬称略）

・奈良義一
・奈良睦英
・下山祐逸
・大沢丈徳
・秋田谷兼仁
・成田武司
・佐藤孝和
・丁子谷充
・鎌田和廣
・秋田谷富男
・小寺昭直
・成田寿光
・相坂泰史
・佐藤勝幸
・笹山和信
・榊原滋高
・島津護
・三和大純
・秋田谷和智
・今井一仁
・吉田純也
・田中寿博



合格おめでとう

第一一一回及び第一一二回全国商工会珠算検定試験が開催されました。なお、合格者は次のようになっています。

▼第一一一回
▽二級　棟方亮伍（浦田塾）
▽三級　秋田谷五月、石岡剛宗（辻分珠算塾）
▽四級　白川浩平、渡辺亜梨沙（辻分珠算塾）
▽五級　宮本鮎華（辻分珠算塾）越谷めぐみ（浦田塾）
▽六級　松橋裕晃（辻分珠算塾）
▽七級　近藤佑人（浦田塾）
▽八級　平野雄大（辻分珠算塾）
▽九級　若山和希（浦田塾）

▼第一一二回
▽三級　藤田嗣門（辻分珠算塾）
▽四級　小山内理佳子（辻分珠算塾）小倉勇斗（浦田塾）
▽五級　山田千草、田中未久（辻分珠算塾）
▽六級　武田和（浦田塾）
▽七級　平野雄大、飯島大貴（辻分珠算塾）長尾南（浦田塾）
▽八級　秋田兼祐（辻分珠算塾）若山和希（浦田塾）

平成10年度 市浦村生涯学習大会

「しうら井戸端会議」

二月二十一日、市浦村コミュニティセンターで「第二回市浦村生涯学習推進大会・しうら井戸端会議」が開催され、百二十五人の参加者が市浦村の生涯学習・地域づくりについて意見交換をしました。

地域づくりは住民と行政の二人三脚で

近年は住民と行政が相互理解・連携・協力によって村づくりを進めていくこと、自分たちのムラづくりを自分たちで積極的に考えていくことが必要とされています。そこで村民が自由に意見を述べあうことによって、ふれあいを深めるとともに、市浦村の現状と課題を理解しあい、今後の市浦村の生涯学習推進体制の方向性を導きだすことを目的に開催されているものです。

▶桑野邦夫氏による講演が行われました

生涯学習大会の構成は講演と井戸端会議の二部構成となっており、午前の部は市浦村企画財政課長桑野邦夫氏による「新しいむらづくりの基本的な考え方とプランの展開」と題した講演が行われました。

講演ではこれまでの村づくり計画とその経過や、公設民営方式による企業誘致、健康文化都市の指定にともなう保健・医療・福祉の整備、県にさきがけて観光立村宣言をした市浦村のこれまでの取り組み等を村づくりに関わってきた立場から解説。

「地域の特色を活性化に結びつけるための材料は探せばまだまだあるのではないか。その材料を活かし、ソフト・ハード面において全国に市浦村の魅力をアピールすることによって、自分のふるさとを見直す〝心の掘り起こし〟に結びつけることができる。」と午後の井戸端会議における話題の提供がされました。

井戸端会議では自由に意見交換

午後の部は参加者が四つの班に分かれ、円を描くようにして自由に討論が行われる「井戸端会議」。午前の講演で市浦村におけるこれまでの取り組みと現状を理解した参加者は「ゴミ問題」「介護保険」「町内会活動」「ボランティア活動」をはじめとした各種問題についての意見交換や「トーサムで手作りの笹餅等を販売したらどうか」などといった地域の特色を用いた活性化への積極的な意見も出てました。

井戸端会議終了後は西北教育事務所主任社会教育主事の岩村静逸氏が「村づくりは村民が主体であり、今日の話をもとに、自分たちの手でできるところから行動をおこしてほしい」と講評。最後は主催者代表として、木村教育長より「複雑、多様化していく社会に対応するため、生涯学習・地域連携の必要性が叫ばれています。市浦村の生涯学習をより良いものにするため、今後ともみなさんのご協力をお願いします」とあいさつがありました。

今回参加されたみなさんからは「村の長期的な考えを理解することができた。」「自分が知らないことが多いことに気づいた。」「型通りの大会ではなかったので、各自が自由に意見を述べることができた。」「今回の大会が地域活性化の原動力になると思う。」との感想があり、今回の大会を通じてそれぞれに手ごたえを感じていました。

▲「井戸端会議」の名のとおり、円になって意見交換をする参加者

市浦村の人口と世帯数

平成11.3.1現在

大字名	前月人口	人口	世帯数
相内	1,264	1,266	416
桂川	68	67	22
太田	276	275	89
脇元	521	519	195
磯松	310	312	109
十三	803	806	252
計	3,242	3,245	1,083

国民健康保険証の更新について

現在使用している国民健康保険の保険証は３月31日で有効期限がきれ、４月１日からは、新しい保険証で受診することになりますので、下記のとおり更新してください。

新しい保険証と取替えましょう！

◎更新の手続きについて

☆現在使用している保険証を持参して下さい。

◎長期間、居住地を離れ単身で保険証を使用する方。

☆出稼ぎの方　印鑑・出稼ぎ先の会社名と住所

☆高校生の方　印鑑・下宿先等の住所

☆学　　生　印鑑・下宿先等の住所及び在学証明書

◎有効期限等の変更について

従来までの保険証の有効期限は、毎年３月31日となっていましたが、今回から毎年９月30日に変更となりました。

＊今回の有効期限
平成11年４月１日
～平成12年９月30日

＊次回の有効期限
平成12年10月１日
～平成13年９月30日

▶更新日程表

３月26日
　９時～12時　磯松公民館
　13時～16時　脇元出張所

３月29日
　９時～12時　十三出張所
　13時～14時　桂川保健福祉館
　14時30分～16時　太田老人集会所

３月30日
　９時～16時　役場第二会議室

◎お問い合わせ先

役場住民福祉課

高齢者の負担額が変わります

老人保健制度加入者の皆さんの診療に関する一部負担金の額が次のとおり変更になります。

◎外来の場合

１日につき500円
→１日につき**530円**

ただし、同一の医療機関に１月に５日以上通院した場合は、その月の５日目以降の通院については無料となります。（薬剤に関する一部負担金はお支払いいただきます。）

◎入院の場合

１日につき1,100円
→１日につき**1,200円**

※村民税非課税の世帯に属する方等で老齢福祉年金を受給している方については、１日につき500円に減額されます。

※村民税非課税の世帯に属する方等については、**１月の負担上限が35,400円に減額されます。**

なお、老人保健制度加入者の皆さんが外来又は在宅で薬剤の支給を受けた場合に、その種類などに応じて医療機関（院外処方せんが発行された場合には、薬局）でお支払いいただいている一部負担金については、平成11年度の特例措置として、平成11年７月１日から国が患者さんに代わってお支払いする予定です。詳しくは、内容が決まり次第、お知らせいたします。

▶お問い合わせ先

役場住民福祉課

B&G「国内体験海洋セミナー」参加者募集

教育委員会では、平成11年度Ｂ＆Ｇ「国内体験海洋セミナー」参加者を募集しています。この機会に沖縄で「海」「船」に対する理解と知識を習得させ、子どもたちを大きな人間に育てましょう。

◎期　　間
平成11年８月２日(月)～６日(金)

◎参加対象
小学校５年生から中学生

◎人　　員
若干名

◎研 修 先
沖縄
（マリンピアザ・オキナワ泊）

◎参 加 費
64,000円（羽田空港発着）

◎研修内容
マリーンスポーツ・自然体験教室・史跡見学・ショッピング・スキンダイビング他

◎申し込先
４月15日(木)までに教育委員会生涯学習係へお申し込みください。

▶お問い合わせ先
教育委員会生涯学習係

▶電話番号
62－3751

県内の交通事故概況

青森県交通対策協議会

	２月	累計
発生	622件 (638)	1,341件 (1,320)
死者	6人 (8)	13人 (8)
傷者	765人 (771)	1,642人 (1,591)

死者のうち		
高齢者の死者		5 (5)
飲酒運転による死者		4 (0)
シートベルト	着用義務者（着けなければならない人）	5 (3)
	非着用者（着けていなかった人）	4 (1)
	着けていれば助かったと思われる人	1 (0)

( )内は前年。累計は１月から。

健康への道

No.125

"ガン"シリーズ④「胃ガン」について

"ガン"シリーズ四回目の今回は、胃ガンについて学習したいと思います。

◎胃ガンについて

胃ガンは、皆さんの中でも、テレビなどでよく見る・聞く病気ではないでしょうか。というのも、ガン死亡割合の中でも、男女ともまだまだ『胃ガン』は、大きな割合を占めているからです。

以前、"ガン"シリーズ①・②で学習したように、「肺ガン」「大腸ガン」のガン死亡は伸びを見せてきているのですが、それでも男性のガン死亡の中で、肺ガンに次いで二位、女性では一位となっています。そして、何より世界の中で、断然トップを走っている胃ガンの割合からみると、まだまだ日本人(私達)にとって、あなどれない病気といえそうです。

◎意外な胃の病気の発生

日頃、よくお世話になっている自分の胃袋——そんな胃袋がどのような表情を見せているか御存知ですか。

胃袋は、非常にデリケートでもあります。精神的なストレスはもちろん、お酒・コーヒー・多量の飲食物などによるストレスにも、すぐにダメージを受けがちです。ある実験で、ネズミを一日、全く動かないようにしておいた結果、たった一晩で潰瘍を作ったそうです。人間でも同じ事で、胃の粘膜を痛め続けると、胃潰瘍どころではなく、慢性胃炎からやがて胃ガンの発生へつながることもあるといえます。

◎胃ガン検診の有効性

胃ガンの検診は、だんだんと皆さんの中でも定着してきており、その発見も早期のうちに可能になっています。そのため、早期に発見すれば、ほとんどが治るといわれています。

自分で感じる症状はなくても、デリケートな胃の中では、何かしら病気を持っている場合があります。

胃の症状がある人もない人も、そして昨年の胃ガン検診で、異常ない人も、胃ガン検診を受ける事はとても大きな意味があります。

◎健診の受診

今年も『一日ドック』が始まります。ぜひ、自分の体の総点検をし、一年間、健康で楽しく過ごしましょう。

平成11年 1日ドック実施について

○日程 平成11年4月12日(月)～16日(金)

○場所 市浦村B&G海洋センター体育館

〔各地区の受診日〕

4月12日(月)	相内地区
4月13日(火)	十三地区
4月14日(水)	太田・磯松地区
4月15日(木)	桂川・脇元地区
4月16日(金)	寿健診(対象は70歳以上、乳がん検診、子宮がん検診、骨粗しょう症検診は実施しない。)

戸籍の窓

▼お誕生

相坂 悠河(十三) 泰史
新岡 真菜(磯松) 正継
田中 美月(磯松) 満
葛西 華(十三) 貴彦
富坂 侑斗(磯松) 明弘

▼ご結婚

三和 規晃(相内)
磯貝 千香(横浜)
白川 友和(十三)
三橋 美保(青森)
佐藤 勝幸(相内)
川村 静子(弘前)
秋田 剛(青森)
櫛引 珠美(脇元)

宮原 信理(山形)
武田 明子(太田)
山田 卓美(脇元)
田島 書加(札幌)
村元 宏禎(磯松)
小寺 由里子(十三)
本荘 暢宏(十三)
石田 三佳(熊本)
秋月 重男(十三)
森田 信子(愛知)
工藤 励一(磯松)
森 和美(川崎)
小出 泰彦(埼玉)
三和 光子(相内)

▼おくやみ

中山 安一郎(磯松)73才
豊島 ミイ(十三)87才
大澤 兼則(桂川)80才
秋田谷 由市(相内)71才
長利 仁三郎(太田)81才
三橋 マツ子(磯松)62才
安保 強(相内)81才
大性 志ゑ(相内)78才
相川 やえ(十三)90才